

朝鮮語教育研究会例会 2008年9月20日

学会の設立から学界の構築へ： フランス語教育をめぐる展開と展望

西山教行(京都大学)

自己紹介

- * 大学院(留学期間を含む)ではフランス文学を専攻
- * 大学院を出てから、非常勤講師となり、志賀高原フランス語研修会に参加、その後、フランスでの教授法研修に参加
- * 「フランス語普及教育研究センター」の長期研修(1994-95)に参加、その後、言語教育学に特化
- * 新潟大学(1999-2005)を経て、京都大学外国語教育論講座(2005～現在に至る)へ
- * フランス語教育学、言語政策を担当
- * フランス植民地主義とフランス語普及の関連、ヨーロッパ言語教育政策、移民への言語教育などを研究

日本における フランス語研究教育組織の歩み 1

- * 1946年 フランス文学会創立
- * 1951年 フランス語学会創立
- * 1959年 NHKテレビフランス語講座開講(ラジオ講座は1931年開始, 1942年-51年中断)
- * 1962年 日本フランス語フランス文学会設立
- * 1963年 フランス派遣スタージュ開始(2002年まで)

日本における フランス語研究教育組織の歩み 2

- * (1969年 パリにて 国際フランス語教授連合(FIPF)発足, 日本より4名参加)
- * 1970年 日本フランス語教育学会創立, FIPFに加盟
- * 1970年 フランス語教育日仏コロック開催(アテネフランセ)
- * 1972年 『フランス語教育』(日本フランス語教育学会学会誌)創刊(2005年まで)
- * 1975年 日本フランス語フランス文学会主催の語学教育シンポジウム「外国語教育・研究をめぐって」開催(以降, 1989年まで17回開催)
- * 1981年 第1回実用フランス語技能検定(仏検)実施

日本における フランス語研究教育組織の歩み 3

- * 1987年 関西フランス語教育研究会発足
- * 1987年 第1回Journée pédagogique(ジュルネ・ペダゴジック)開催
- * 1989年 フランス大使館主催第1回フランス語教育セミナー開催
- * 1991年 ペダゴジーを考える会(Peka)発足
- * 1996年 国際フランス語教授連合世界大会開催(慶應義塾大学)
- * 2000年 現代フランス研究会発足
- * 2003年 『フランス語教育』科研費採択
- * 2006年 *Revue japonaise de didactique du français*(日本フランス語教育学会学会誌)刊行

フランス語教育学会の設立

- * 1969年に設立の「国際フランス語教授連合」への加盟をフランス語フランス文学会に提言
- * 分担金の支払いを拒否
- * 語学教育には直接関わらないことが、主たる理由。
- * 語学研究, 文学研究に関わる学術団体
- * 国際協力への関心の低さ?
- * 新しいグループ(「第2組合」, 分派活動?)の設立へ
- * 主従関係?の発生

さまざまな研究会の設立

- * 関西フランス語教育研究会, ジュルネ・ペダゴジック(1987)
- * ペダゴジーを考える会(1991)
- * フランス語教育学会の形骸化と権威化に対抗
- * 「日本における」フランス語教授法への高い関心
- * 国外の研究に対しては低い関心
- * 現代フランス研究会(2000)
- * 縦断的フランス社会文化研究の必要性

国際フランス語教授連合世界大会 (1996)の功罪

- * アジアで初めての世界大会
- * 1000名あまりの参加者
- * 日本のフランス語教師の国際化への貢献
- * 招致をめぐり、教師が賛否に分裂
- * 開催資金をめぐる大きな負担
- * その後の関係者の離散？
- * 残余金の使途

日本フランス語教育学会の活動

- * 執行部(会長, 副会長2名, 幹事長)
- * 理事(25名)
- * 会員数(およそ700名, 内2割弱はフランス語母語話者)
- * 春秋の大会(外部講師による講演, シンポジウム, 研究発表など)
- * 学会誌の刊行(1年に二冊)
- * Bulletin(お知らせ)の刊行
- * 日本フランス語フランス文学会, フランス大使館との共催で, フランス語教育セミナーの実施
- * 各種研究会の支援

学会誌の改革

- * 『フランス語教育』の問題
- * 教授法の問題と実践報告が中心
- * 査読体制は不明
- * *Revue japonaise de didactique du français* (日本フランス語教育学雑誌)
- * フランス語論文はすべて海外の学術顧問(フランス, スイス, ベルギー, カナダ, イギリス)がブラインド審査
- * 日本語論文は日本人学術顧問がブラインド審査
- * アジアからの投稿原稿
- * 論文採択率60%程度

Revue japonaise de didactique du français Études didactiques

ISSN 1880-5030

Revue japonaise de didactique du français
Vol. 2, n. 1
Études didactiques

Articles

Sciences du langage et didactique des langues :
une relation privilégiée Jean-Louis CHISS
Transcription, translittération, et didactique de l'oral en FLE au Japon :
katakana, rōmaji et orthographe française Sylvain DETRY
Identifier et articuler les compétences dans l'enseignement/
apprentissage du FLE Valérie SPARTH
Pour une discussion métapragmatique en classe de FLE HARADA Sanae
Les besoins syntaxiques des apprenants japonais : identification et
approche didactique par la pratique du thème David COURBON
Les apprenants coréens confrontés à l'opposition phonologique des consonnes
sourdes et sourdes du français : réflexions et propositions Kim Hyeon-Zoo
Autonomie langagière et TIC (Technologies de l'Information
et de la communication) Claude GERMAIN
Nécessité et efficacité de l'apprentissage autonome assisté
par ordinateur - CALL Ohts MITSURU, MATSU Sayako, Hori Shinya,
NISHIMURA Noriyuki, TAINO Akira
Technologies de l'Information et de la Communication (TIC) et
auto-apprentissage en didactique du FLE au Japon MOTO Ryoji
Théories de la motivation sur l'enseignement, à partir d'études sur les
objectifs et l'apprentissage autorégulé UEBUCHI Hisashi
Une étude sur la motivation des étudiants qui apprennent le français et l'évolution
de leurs sentiments par rapport à son apprentissage MATSU Sayako
Desirs de langues - du côté des étudiants Marie-Françoise PUNGER
Mobilité internationale et activité formatrice du sujet plurilingue Muriel MOLINER

SOCIÉTÉ JAPONAISE DE DIDACTIQUE DU FRANÇAIS
2007

Revue japonaise de didactique du français
Vol. 2, n. 1
Études didactiques

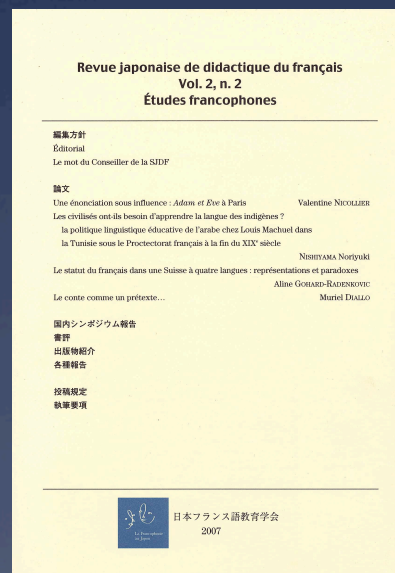
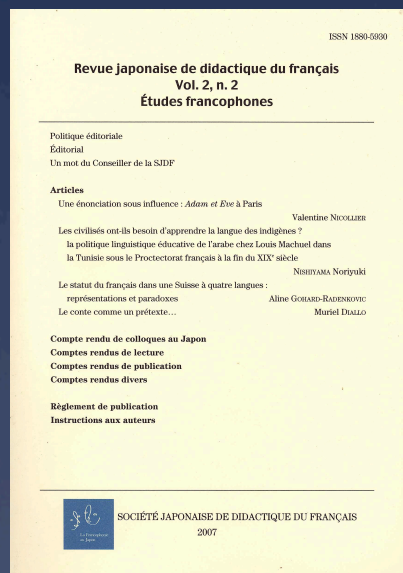
論文

Sciences du langage et didactique des langues :
une relation privilégiée Jean-Louis CHISS
Transcription, translittération, et didactique de l'oral en FLE au Japon :
katakana, rōmaji et orthographe française Sylvain DETRY
Identifier et articuler les compétences dans l'enseignement/
apprentissage du FLE Valérie SPARTH
Pour une discussion métapragmatique en classe de FLE HARADA Sanae
Les besoins syntaxiques des apprenants japonais : identification et
approche didactique par la pratique du thème David COURBON
Les apprenants coréens confrontés à l'opposition phonologique des consonnes
sourdes et sourdes du français : réflexions et propositions Kim Hyeon-Zoo
Autonomie langagière et TIC (Technologies de l'Information
et de la communication) Claude GERMAIN
CALLによる教室外自律学習の必要性と有効性
大木 晃, 松井沙矢子, 藤 晋也, 西山教行, 田地野彰
Technologies de l'Information et de la Communication (TIC) et
auto-apprentissage en didactique du FLE au Japon MOTO Ryoji
最近の教育に関わる動機づけ理論, 特に達成目標と自己制御学習研究から
上野 寿
初級フランス語学習者の動機づけに関する研究
松井沙矢子
—フランス語学習に対する意識の変化— Marie-Françoise PUNGER
Desirs de langues - du côté des étudiants Marie-Françoise PUNGER
Mobilité internationale et activité formatrice du sujet plurilingue Muriel MOLINER

日本フランス語教育学会
2007

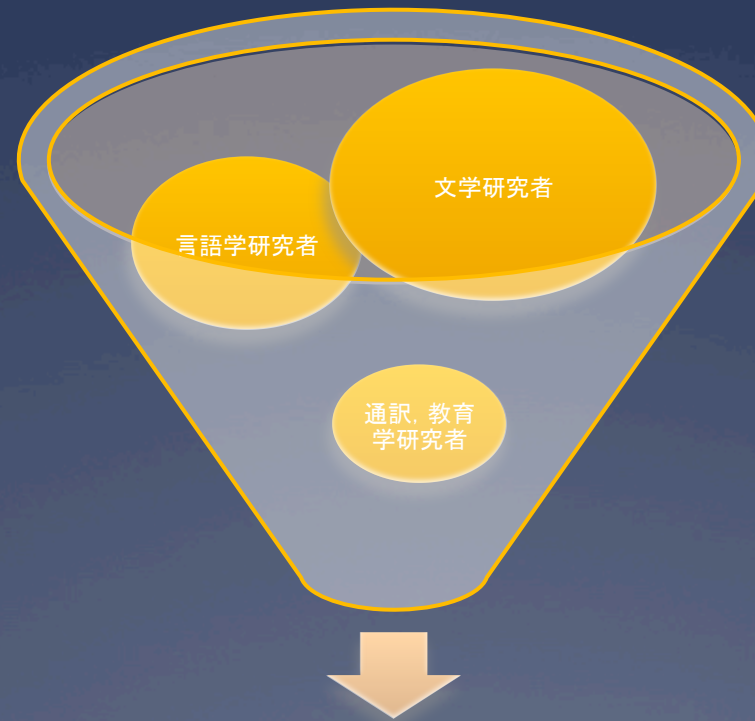
- フランス語教育学研究論文
- 実践報告
- 大会シンポジウム報告
- 書評・出版物紹介
- 各種学会報告
- 教室へのヒント
- 国内雑誌論文目録
- 国外雑誌論文目録
- 寄贈論文目録
- 活動報告
- 投稿規定・執筆要項

Revue japonaise de didactique du français Études francophones



- フランス語圏関連論文
- フランス社会文化論関連論文
- 国内コロック報告
- 書評・出版物紹介
- 各種報告
- 投稿規定・執筆要項

フランス語教師集団の階層



フランス語教師集団の構造

「界」champsとは何か

- * フランスの社会学者ピエール・ブルデューによる概念
- * ミクロコスモス(小宇宙)
- * 複数の行為者によって構築された磁場
- * 自律的空間(それ自体に固有の論理が存在)
- * 力関係
- * 文化資本
- * 象徴支配

フランス語教育研究「界」？

- * 専門的研究者の存在？
- * 専門家集団の自律性（他者からの承認，独自のルール）
- * 専門家集団（学会）の存在
- * 専門雑誌の存在

フランス語教育研究の今後の課題

- * 団塊の世代をめぐって
- * 関係者の1/3以上が退職する？
- * 補充ポスト(フランス語か, それ以外の言語か, 消滅か)
- * フランス語の場合, どのような科目に配分されるか
- * 文学, 語学ポストの激減
- * 教養部の廃止以降, 外国語プラス専門科目の教育を担当するポストの増加

フランス語教育研究の今後の課題

- * 大学院重点化以降, 院生のさらなる増加とポストの減少
- * フランス文学科の縮小, 廃止
- * ヨーロッパ文学科? 欧米文化科への縮小変更
- * カルチャースタディ, フランス社会文化研究などへ
- * 言語教育専門家への要請は一定のニーズ
- * 言語教育専門家とは何を意味するか?
- * 教材作成者? 言語教育学研究者?

フランス語教育研究の今後の課題

- * 大学における第2外国語の削減, 自由選択の流れ
- * 大学教育の多言語化の流れ
- * 護送船団方式から自由競争(言語戦争?)へ
- * なぜフランス語を教えるか
- * 言語教育の差別化は必要か?
- * 中等教育への拡大?
- * 生涯教育への展開?

감사합니다

西山教行

jnn@lapin.ic.h.kyoto-u.ac.jp

<http://www.momiji.h.kyoto-u.ac.jp/~nishiyama/>